



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

第13号「新潟支社における運輸車両部門の組織再編について」に対する第二次申し入れ(車両職場再編・検修業務関係)団体交渉① 実施に伴う教育・体制などを明らかに

新潟地本は2月16日、申13号「新潟支社における運輸車両部門の組織再編について」に対する第二次申し入れ(車両職場再編・検修業務関係)の団体交渉を行いました。

長岡車両センターを廃止、新津運輸区車両部門の派出化を行い、車両職場、検修業務を新潟車両センターに集約するとして実施まで1ヶ月に迫る中で不明確な点について会社の考えを質しました。

車両職の目指すべき未来像として、新潟車両センターで全部ができるようになることが理想であるとしていたことから、車両職の全てを学ぶことが可能な方法を具体的に明らかにするよう求めました。

支社側は、新人教育は現行通りとした上で、他の社員については全車種が望ましいが技術管理もあり、車種によって人数が決まっていることから、区所で

技能マップに基づいて進めていくとしました。具体的なスケジュールについて支社側は、示せるものはないとした上で、職場の体制は変わっていくが、電車、気動車など見る人が3月18日時点でいきなり変わるのではなく徐々に交わっていくイメージであり、必要の都度、必要な教育を行っていくとしました。

えを問うと支社側は、電車は新潟車両センター、気動車は新潟、機関車は長岡車両センターで留置車両を見て行うことはあるとの考えを示しました。また、機関車の教育については必ずしも全員ではなく、スケジュールや休日、業務の状況を見ながら必要に応じて実施していくとしました。



新潟車両センターの各グループの要員を質しましたが支社側は、総体での人数であるとして、グループ別には明らかにしませんでした。

【新潟車両センター関係】

新潟車両センターの各グループの要員を質しましたが支社側は、総体での人数であるとして、グループ別には明らかにしませんでした。

その上で、一般49は日々のオペレーションではなく平均的な出勤数であり、必要な人員数はもつといるとしました。また、3月18日時点では49という数以上にいるはずであり、その中で仕事を分配していくことになる

としました。49という数字の算出の考え方を質しましたが支社側は、技術管理、検修などの総体であり詳細には示せないとした上で、余力も考慮した上で作業ダイヤから算出している

としました。また一般49には新津派出の面も含まれており、変形47のうち、臨時修繕として新津が4、交代2のうち新津が1管理11のうち

約や教育について考えを質しました。支社側は、各区所で安全に作業できることが第一であり安全に必要な教育は行っていくとした上で、ルールを統合できれば理想だが、3月18日時点では現行のものを準用し、各区所のものを統合・包含したものを新潟車両センターの要領としていくことで進めていくとしました。

ターから、NTS新津営業所には新津派出から行うとしました。DLの仕業検査をJRが行う場合は出張して行う

【新津運輸区関係】

キハ110系の保全について質すと支社側は、交番検査はJR3名、上回り検査工事と付帯検査工事はNTS委託業務で、現行通りである

キハ110系の運用が乱れたときの対応を質すと新津派出の検修当直が対応するとして、運用管理、検査周期管理は新潟車両センターで行うが、新津口の車両のさばきは新

【資材事務関係】

事務用品や車両部品などはどこが手配するのか明らかにするよう求め、PRCに係わるものは長岡営業統括センターで手配するが、検修に係わる用品や部品は新潟車両センターで手配するとの回答を受けました。

数量や在庫状況の把握方法を質すと、リアルタイムでの在庫状況の把握方については、現在検討中であるとしました。

新津派出については日々数量把握できる新津在勤者を中心に、事務用品は新潟車両センターの総務グループで発注して購入し、新津に配送するとの考えを示しました。

津派出の検修当直で行うとしました。SLも他の車種と同じく、これまで携わっていた社員が担当するとして支社側に対して添乗する社員は要員に入っているのかを質すと、SLは土休日中心の運行であり冬には運行しないことから、新潟車両センターの波動部分として見ていると明らかにし

ける危険物保安監督者及び実務者は誰が行うのかを質すと、管理は新潟車両センターだが、在勤箇所

また、長岡車両センターで担っている産業廃棄物の管理等については、新潟車両センターで行うこと

新入社員のみなさん！ 入社おめでとうございます！

初めての仕事や職場に対する不安や悩みはありませんか？

私たちJR東日本労働組合(東日本ユニオン)に気軽に相談してください！



東日本ユニオンで私たちとともに働きやすい職場を創りましょう！

新入社員や転入者教育、車種転換教育の計画について質しました。支社側は、「GVとE129系」のように車種間のハードルが低いものは多くの人が学べるが、機関車やSLは専門性が高い車種なので、最低限必要な人員確保するなど、全体像を見ながら進めて行くことになる

としました。また一般49には新津派出の面も含まれており、変形47のうち、臨時修繕として新津が4、交代2のうち新津が1管理11のうち

約や教育について考えを質しました。支社側は、各区所で安全に作業できることが第一であり安全に必要な教育は行っていくとした上で、ルールを統合できれば理想だが、3月18日時点では現行のものを準用し、各区所のものを統合・包含したものを新潟車両センターの要領としていくことで進めていくとしました。

ターから、NTS新津営業所には新津派出から行うとしました。DLの仕業検査をJRが行う場合は出張して行う

